

1. 日米株式と円/ドルの推移

<日本株(日経平均)>



<米国株(NYダウ)>



<円/ドル>



(注)チャートは過去1年

	単位	2018/12/31	2019/3/29	2019/4/12	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	20,014.77	21,205.81	21,870.56	24,448.07	2018/10/2	14,864.01	2016/6/24
NYダウ	ドル	23,327.46	25,928.68	26,412.30	26,951.81	2018/10/3	17,063.08	2016/6/27
円/ドル	円	109.69	110.86	112.02	118.66	2016/12/15	99.02	2016/6/24

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～利益確定売りや日米TAG(物品貿易協定)交渉への警戒感などから、TOPIXは下落～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+63.06円(+0.29%)となったものの、TOPIXは▲20.35ポイント(▲1.25%)となり、利益確定売りや日米TAG交渉への警戒感などから下落しました。業種別(東証33業種)でみると情報・通信業、サービス業、その他製品の3業種が上昇する一方、建設業、銀行業、医薬品、不動産業などの30業種が下落しました。

週初の8日は、先々週末の米国株高を背景に上昇して始まるも、買い一巡後は節目の22,000円を前に利益確定売り優勢となり小幅下落となりました。その後は、米国株式市場でSOX指数(フィラデルフィア半導体株指数)が最高値を更新したことを受けて半導体関連銘柄中心に買われる局面もありましたが、①米欧間の新たな貿易摩擦問題が浮上り日米TAG交渉への警戒感に繋がったこと、②2月機械受注統計が市場予想を下回ったことなどから軟調に推移しました。なお、日経平均は、週末に好決算を発表したファーストリテイリングと、保有するウーバー・テクノロジーズが上場申請したソフトバンクが買われたことを受け、週間ベースで上昇して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回
4月15日	Mon	米国	ニューヨーク連銀製造業景気指数	4月 3.7
4月16日	Tue	日本	20年利付国債入札	
		米国	第3次産業活動指数(前月比)	2月 0.4
4月17日	Wed	米国	鉱工業生産(前月比)	3月 0.1%
		日本	貿易収支	3月 3390億円
		米国	ペーパブック(地区連銀経済報告)	
		中国	貿易収支	2月 -511億ドル
4月18日	Thu	中国	鉱工業生産(前年比)	3月 5.4%
		中国	GDP(国内総生産)(前年比)	1-3月期 6.4%
		日本	流動性供給入札	
4月19日	Fri	米国	小売売上高(除自動車)(前月比)	3月 -0.4%
		米国	フィラデルフィア連銀製造業景況指数	4月 13.7
4月19日	Fri	日本	景気先行指標総合指数	3月 0.2%
		米国	CPI(全国消費者物価指数)(除生鮮/前年比)	3月 0.7%
		米国	住宅着工件数	3月 1162千件

決算発表予定 他	海外	決算発表 :	4/15 シティグループ、ゴールドマン・サックス 4/16 IBM、ジョンソン・エンド・ジョンソン、バンク・オブ・アメリカ、ブラックロック、Netflix 4/17 ASML、モルガン・スタンレー 4/18 ブラックストーン・グループ、アメリカン・エキスプレス
----------	----	--------	---

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～景気や企業業績に対する警戒感が和らぐ一方、10連休を控え積極的な売買が控えられる中、日経平均22,000円前後でもみ合う展開～

今週の日本株市場は、①中国において先週末に発表された輸出が市場予想を大幅に上回るなど、今月に入り市場予想を上回る経済指標の発表が相次いだことを受けて中国景気の先行きに対する警戒感が後退していること、②米国企業の決算発表が本格化する中、先週末に発表された大手金融機関の決算が市場予想を上回る結果となり、企業業績に対する警戒感が和らいだこと、③英国のEU(欧州連合)離脱問題について、離脱期限が10月末まで再延期されたことを受けて、合意なき離脱の可能性がほぼなくなったことなどがサポート要因となる一方、④15~16日にかけて行われる日米TAG交渉において、米国が円安ドル高是正圧力を強める可能性があること、⑤10連休となるゴールデンウィークが近づく中、ポジションを傾けにくいことなどが上値を抑えることから、日経平均22,000円前後でもみ合う展開を予想します。

その他の注目材料として、日本では17日の貿易収支や19日のCPI、米国では本格化する決算発表に加え、16日の鉱工業生産、17日のペーパブックや貿易収支、18日の小売売上高、19日の住宅着工件数、中国では17日の鉱工業生産やGDPなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会